



キラリ☆輝く

おとも っ子

遠野市立小友小学校校報 第12号
令和5年9月6日(水)発行

☆教育目標☆

進んで学びよく考える子ども
明るく思いやりのある子ども
健康でねばり強い子ども

小友まつりで多くの児童が活躍

8月26日(土)、3年ぶりに小友まつりが開催されました。巖龍神社の参拝では、小友の歴史と文化の重みを体感しました。沿岸と内陸を結ぶ地の宿場町として栄えた小友銀座では奉納行列や各地区の神輿や神楽によるパレードが行われ、坂の上から向こうに見えるお不動様の岩、神社の赤い屋根と鳥居、白いのぼり、そこからまっすぐ伸びる往来や着飾った人々と街並みを眺められる光景が大変すばらしく、より多くの人に観てほしいと思いました。金色に輝く真新しいお神輿、南部ばやしや子ども樽神輿が目の前を通り、長野しし踊り、山谷しし踊り、鷹鳥屋しし踊り、鷹鳥屋神楽、外山神楽と、郷土芸能の勇壮な舞が次々に披露されました。

それぞれの地区で、大切な役割を担って参加している小友小の子どもたちが、地域との関わりの中で育ち、地域に育てられている地域の宝であることを改めて実感させられました。

保護者の皆様、地域の皆様、大変お疲れ様でございました。ありがとうございました。



3~6年生 ホップ工場見学

8月28日(月)、青笹町のホップ農場と上郷町のホップ工場(JA いわて花巻ホップ加工処理センター)を見学してきました。遠野市がホップの生産量日本一であること。ホップが1日に15センチ以上伸びること。トラックで運ばれてきたホップは摘花機にかけられ、「毬花(まりばな)」、「葉っぱ」、「茎」の部分に分けられること。毬花は手作業で選別されて、別のビール工場に運ばれることなど、多くの学びがありました。



3・4年生 水生生物調査

8月29日(火)、3・4年生が巖龍神社近くの岩観橋の下で水生生物調査を行いました。

セーフティジャケットや網などの用具を借りて実施し、岩手県環境アドバイザーの藤原正さんと学級担任の指導のもと、子どもたちは水深20cmほどの川底から生物をすくい、どんな生きものがいるのか確かめました。きれいな場所に生息するカワゲラ類やカジカなどが見付き、長野川の下流はとてもきれいだということがわかりました。これからも自然を守る活動を大切にしていきます。



避難訓練

9月1日(火)の防災の日に、第2回避難訓練を行いました。

今回は昼休み時間における地震と家庭科室からの出火という設定でした。校舎改修工事のため、これまでの昇降口ではなく、主に1・2年教室から避難するように変更しており、その訓練も兼ねて行いました。

【6年 佐々木奈津美さんの感想発表】「今日、学校で工事がスタートして初めての避難訓練でした。しかも、いつもと違う時間でした。けれど、『おかしも』【※】をしっかり守って行動できたので、良かったです。」

【※】(押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない)



校内夏休み作品・自由研究発表会

ありました。それぞれの工夫や研究の要点などを互いに学ぶことができました。



敬老会で昔話の朗読・語り

9月2日(土)、小友地区センター体育館で小友町敬老会が行われました。アトラクションの一つとして、4名の

児童が昔話の朗読や語りをしました。たくさんの聴衆の前に出て、とても緊張した様子でしたが、皆、堂々と発表し、おじいさん方やおばあさん方に大変喜んでいただきました。



☆この校報は小友町地域教育協議会のご協力を得て地域の皆様にご配付させていただいております。